

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ゼネラル・オイスター 上場取引所 東
コード番号 3224 URL <https://www.oysterbar.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 秀則
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 境 大策 (TEL) 03-6667-6606(代表)
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,887	1.5	50	△45.2	47	△49.1	59	△37.7
2023年3月期第3四半期	2,845	54.2	92	—	92	—	95	△63.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 43百万円(△44.8%) 2023年3月期第3四半期 79百万円(△68.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	14.69	—
2023年3月期第3四半期	23.65	23.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,399	1,064	45.1
2023年3月期	2,390	1,018	42.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,081百万円 2023年3月期 1,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,896	3.5	130	2.2	128	△0.5	124	△10.2	30.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,027,700株	2023年3月期	4,023,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	254株	2023年3月期	229株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,027,422株	2023年3月期3Q	4,017,056株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除され、社会・経済活動が正常化に向かうなど、緩やかな回復傾向が続いております。

しかしながら、世界的な金融引締めの影響や中国経済の先行き不透明な情勢への懸念など、内外経済の下振れリスクに加えて、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、感染症対策の緩和等により人流が回復傾向にあるものの、円安やウクライナ情勢の長期化を起因とした原材料、エネルギー価格の高止まりと、それに伴う物価上昇による消費者マインドの変化に加え、慢性的な人手不足が続くなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、原価低減、モバイルオーダーシステムの導入による少人数で運営できる体制作りに引き続き取り組むとともに、既存店舗のリニューアル、新規出店に加えて、北海道札幌にフランチャイズ店1号店をオープンするなど業態開発にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の直営店の出退店につきましては、4店舗を新規出店し、2店舗をリニューアルし、4店舗を閉店いたしました。これらにより、2023年12月末日現在の店舗数は、25店舗となりました。

また、「Everybody Oyster」のヴィジョンの下、『カッキテキ』な技術力を創造し、オイスターの安心安全の高付加価値を実現することで、牡蠣の生産から販売まで事業ポートフォリオを構築し、お客様一人一人の満足度を向上させていくとともに、複数の成長軸をもった持続的成長の実現と企業価値の向上を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年度に比べて42,109千円増（1.5%増）の2,887,510千円、営業利益が加工事業の低迷や販売費及び一般販管費の増加等により前年度に比べて41,755千円減（45.2%減）の50,585千円、経常利益が前年度に比べて45,508千円減（49.1%減）の47,190千円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年度に比べて35,856千円減（37.7%減）の59,162千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。以下の売上高の数値は、セグメント間取引消去前となっております。報告セグメントと事業内容との関係性は次のとおりです。

- ①「店舗事業」は、店舗事業、富山入善ヴィレッジ事業の店舗から構成されます。
- ②「卸売事業」は、当社の店舗事業を除く外部飲食店等への牡蠣関連の国内卸売事業となります。
- ③「加工事業」は、店舗事業のセントラルキッチン機能及び外部からの受託加工事業から構成されます。
- ④「その他」は、浄化センター、陸上養殖の所在エリア内でのイベント事業及びECサイト事業から構成されます。

① 店舗事業

当第3四半期連結累計期間においては、2023年5月に「8TH SEA OYSTER Bar パルコヤ上野店」（東京都台東区）、2023年10月に「8TH SEA OYSTER Bar 渋谷ヒカリエ店」（東京都渋谷区）、2023年11月に「8TH SEA OYSTER Market Kitghen 阪急うめだ本店」（大阪府大阪市）、「8TH SEA OYSTER Bar 天神ソラリア店」（福岡県福岡市）の4店舗をオープンし、FC1号店として2023年11月に「8TH SEA OYSTER Bar ココノススキノ店」（北海道札幌市）もオープンしました。また、「阪急ランドビル店」と「ミント神戸店」のリニューアル工事も実施し、引き続き売上拡大に向けた出店・リニューアルを進める予定ですが、商業施設のリニューアルや大阪・梅田エリアの店舗戦略見直し等により、2023年8月に「福岡キャナルシティプラザ店」、2023年9月に「横浜モアーズ店」及び「梅田NU茶屋町店」、2023年12月に「池袋東口店」を閉店することとなりました。この結果、2023年12月末現在の直営店舗数は25店舗、FC1店舗となっております。

一方、業績においては、前年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けることはなかったため、前年と比べて売上を回復させることができましたが、将来に向けたスクラップ&ビルド（4店舗の出退店）や業態変更（2店舗）を実施したこと等により営業コストが増加しました。以上の結果、売上高2,450,068千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益297,209千円（前年同期比4.7%減）となりました。

② 卸売事業

当第3四半期連結累計期間においては、商社や飲食店が集まる食品展示会への出展や取引先の紹介依頼を強化し、販売先数の拡大に尽力し、売上は引き続き好調に推移しております。以上の結果、売上高340,430千円（前年同期比36.2%増）、セグメント利益108,114千円（前年同期比33.7%増）となりました。

③ 加工事業

当第3四半期連結累計期間においては、2021年5月より開始した海産物の受託加工事業により、本セグメントの収支改善が進んでおりましたが、当社が主に取り扱っているホタテの価格上昇により、回転寿司チェーンの取扱いが縮小した影響から前年と比べて収支が悪化しておりますが、引き続き本セグメントの赤字縮小に努めて参ります。以上の結果、売上高62,251千円（前年同期比76.6%減）、セグメント損失54,543千円（前年同期はセグメント損失21,942千円）となりました。

④ その他

当第3四半期連結累計期間においては、浄化センター及び陸上養殖エリア内でのイベント事業で売上が計上されたほか、ECサイト事業においても売上が計上されました。以上の結果、売上高61,166千円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益7,094千円（前年同期はセグメント利益187千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,399,069千円となり、前連結会計年度末と比較して8,312千円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が374,639千円減少し、有形固定資産が180,421千円増加したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,334,567千円となり、前連結会計年度末と比較して37,319千円の減少となりました。これは主として、長期借入金が50,571千円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,064,502千円となり、前連結会計年度末と比較して45,632千円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が59,162千円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334,296	959,657
売掛金	194,649	329,125
原材料	38,986	58,771
未収入金	10,305	21
未収消費税等	1,766	1,977
その他	12,138	30,568
流動資産合計	1,592,143	1,380,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	424,036	567,915
その他（純額）	107,275	143,817
有形固定資産合計	531,311	711,733
無形固定資産		
その他	—	13,034
無形固定資産合計	—	13,034
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,045	7,721
敷金及び保証金	244,256	286,458
投資その他の資産合計	267,301	294,180
固定資産合計	798,613	1,018,947
資産合計	2,390,756	2,399,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,639	160,667
1年内返済予定の長期借入金	67,128	67,428
未払法人税等	18,185	4,022
資産除去債務	8,704	18,025
株主優待引当金	27,162	22,792
契約負債	28,939	20,857
その他	273,722	212,311
流動負債合計	526,481	506,105
固定負債		
長期借入金	454,923	404,352
繰延税金負債	206,068	183,288
資産除去債務	184,413	239,320
その他	—	1,500
固定負債合計	845,405	828,461
負債合計	1,371,886	1,334,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,183	1,318,183
資本剰余金	1,386,239	1,387,239
利益剰余金	△1,682,526	△1,623,363
自己株式	△114	△114
株主資本合計	1,020,782	1,081,944
新株予約権	8,600	8,600
非支配株主持分	△10,512	△26,042
純資産合計	1,018,869	1,064,502
負債純資産合計	2,390,756	2,399,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,845,401	2,887,510
売上原価	1,081,984	1,009,123
売上総利益	1,763,416	1,878,386
販売費及び一般管理費	1,671,075	1,827,801
営業利益	92,340	50,585
営業外収益		
受取利息	7	6
受取協賛金	3,315	—
還付加算金	1	30
その他	—	32
営業外収益合計	3,324	69
営業外費用		
支払利息	2,965	3,464
営業外費用合計	2,965	3,464
経常利益	92,699	47,190
特別利益		
補助金収入	11,231	300
受取保険金	—	4,311
特別利益合計	11,231	4,611
特別損失		
アドバイザー等費用	13,400	—
店舗閉鎖損失	—	5,373
特別損失合計	13,400	5,373
税金等調整前四半期純利益	90,531	46,429
法人税等	11,484	2,796
四半期純利益	79,046	43,632
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,972	△15,529
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,019	59,162

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	79,046	43,632
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	79,046	43,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,019	59,162
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,972	△15,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	店舗事業	卸売事業	加工事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	2,284,084	250,005	259,998	2,794,088	51,312	2,845,401	—	2,845,401
外部顧客への 売上高	2,284,084	250,005	259,998	2,794,088	51,312	2,845,401	—	2,845,401
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	6,503	6,503	—	6,503	△6,503	—
計	2,284,084	250,005	266,501	2,800,592	51,312	2,851,905	△6,503	2,845,401
セグメント利益 又は損失(△)	311,913	80,877	△21,942	370,848	187	371,035	△278,694	92,340

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「イベント事業」及び「ECサイト事業」を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,694千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	店舗事業	卸売事業	加工事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	2,450,068	340,430	35,845	2,826,344	61,166	2,887,510	—	2,887,510
外部顧客への 売上高	2,450,068	340,430	35,845	2,826,344	61,166	2,887,510	—	2,887,510
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	26,406	26,406	—	26,406	△26,406	—
計	2,450,068	340,430	62,251	2,852,750	61,166	2,913,917	△26,406	2,887,510
セグメント利益 又は損失(△)	297,209	108,114	△54,543	350,780	7,094	357,875	△307,290	50,585

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「イベント事業」及び「ECサイト事業」を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△307,290千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。